



熱海市立桃山小学校
学校だより
令和6年10月1日
文責：中田健太郎
TEL 81-9134

令和6年度学校教育目標 「夢に向かって、全力でチャレンジする子」

重点目標

「気づき、考え、判断し、行動する子」
「思いやりの気持ちを表現できる子」

全校遊び「こおり鬼」を楽しみました



いつも心に太陽を ～感謝の気持ちをもとう～

校長 佐藤 正和

9月11日（水）に本校キャリア教育の一環として「夢先生」事業を行いました。今年度は、ソフトボール元日本代表の山根佐由里さんを講師にお招きし、ボールの投げ方等の体験活動や、アスリートとしての体験をもとにした夢講演会を実施しました。

ボールの投げ方の体験活動では、プロならではの視点で子どもたちにもわかりやすく指導していただき、フォームや飛距離も目に見えて向上していきました。子どもたちも自身の成長に自信をもつことができたようで、短いながらも貴重な体験をすることができました。

午後の高学年を対象とした夢講演会では、ソフトボールを始めたきっかけや日本代表を目指して努力を続けたことなど、自身の確かな経験に基づいた熱いお話をしていただきました。さらに、けがや所属チームの消滅など、多くの困難を乗り越えてきたお話も、子どもたちの心を揺さぶるものでした。

「目標をもって努力をし、次につなげていく」といった、夢を実現していくアプローチの仕方は、子どもたちにとって、これからの生活に生かしていける山根さんのメッセージだったと感じましたが、もう一つ、第一線で活躍してきたアスリートだからこそそのメッセージがありました。それは、「感謝の気持ちをもとう」ということでした。

日々私たちは、様々な人や集団（組織）に支えられ、励まされながら生活をしています。そうした方々に感謝の気持ちをもって接するのはある意味当たり前ではありますが、山根さんは、つらい練習に対しても「こんな機会、成長できるチャンスをもたらえてありがとう！」とか、けがをした時も「競技に向き合い、自分自身を見つめ直すチャンスをくれてありがとう！」など、目の前の困難でさえも「ありがとう」の感謝の気持ちに置き換えていると話していました。

私たちも、何らかの困難に出会ったとき、それに対して不平不満を言うだけならば何も成長しないのかもしれませんが、しかし、その困難を「ありがとう」に変換するためには、自分を客観的に見つめなおしたり、どうすれば改善していけるかを考えたりする必要があります。おそらくそこに「成長のもと」があるのでしょう。山根さんは、子どもたちにもわかりやすく「感謝の気持ちをもちましょう」と伝えてくださいましたが、実は「成長論」について触れていただいたのかもしれませんが。

講演後の質問タイムでは「山根さんの座右の銘は何ですか」という質問があり、山根さんは「いつも心に太陽を」とお答えになりました。山根さんの笑顔と心の持ちようにぴったりな言葉だなと感じました。「夢に向かって全力でチャレンジ」している桃っ子たちにとってのスローガンにもなり得るかもしれないポジティブな言葉をくださったことをありがたく感じるとともに、感謝の気持ちをもって前向きにがんばれるよう、子どもたちを支え励ましていきたいと強く思いました。





夢先生

ソフトボールが教えてくれた、
諦めないことの大切さ

先生は、元ソフトボール日本代表の山根佐由里さんです。

低学年は、まずは真似をすることからスタートですね。



高学年は、コツを覚えて、どんどん上達していきました。

成功と失敗、チャレンジすることの大切さを学びました。

夢に向かって全力でチャレンジする桃っ子も真剣です。



8月26日（月）の引き渡し訓練では、保護者の皆様にご協力いただき、円滑に子供たちを引き渡すことができました。ありがとうございました。Google フォームでの事後アンケートでいただいたご意見を参考にしながら、いざという時により安全に引き渡しができる方法を考えていきたいと思えます。



<アンケートに寄せられたご意見>

- ・急な大雨の中で迎えにいくと、坂道からの水の流れて滑りやすく危険に感じる場面があります。少しシミュレーションができた気がします。
- ・玄関や食堂など、子供たちが全員同じ場所にいた方が、兄弟がいる場合はありがたいと思いました。

9月25日（水）授業参観・懇談会・ブックトーク（読み聞かせ）



【お知らせ】

- ・10月の校納金振替日は、10月28日（月）です。引き落としができませんよう、残高確認をお願いします。